

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組： 小川 ）

使用教科書：（ 大修館書店『新編 言語文化』 ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 宇治拾遺物語「児のそら寝」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 徒然草 「公世の二位のせうとに」 「神無月のころ」 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
	C 単元 枕草子「にくきもの」 【知識及び技能】 ・言語文化の理解に必要な語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述のもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 伊勢物語「芥川」 【知識及び技能】 ・言語文化の理解に必要な語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述のもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。	○	○	○	14

	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	E 単元 羅生門 【知識及び技能】 ・常用漢字の読み書きをし、文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述のもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・常用漢字を使用し、読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、場面ごとと人物の心情の変化をとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、人物の心情の変化を理解しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査						○	○	○	1
	F 単元 更級日記「あこがれ」 【知識及び技能】 ・言語文化の理解に必要な語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容、構成、展開を叙述のもとにとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。	○	○	○	24
	定期考査						○	○	○	1
3 学 期	G 単元 漢文に親しむ 【知識及び技能】 ・漢文訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の背景をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	○	○	○	7
	H 単元 「蛇足」 【知識及び技能】 ・漢文訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の背景をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「蛇足」から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	○	○	○	11
	I 単元 漢詩「春望」 【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の背景をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているもの感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然や人生をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
							計	117		

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組 C 組

教科担当者： 志賀尚司

使用教科書：（ 歴史総合 近代から現代へ 山川出版社 ）

教科 歴史総合

【知 識 及 び 技 能】 世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。

【思考力、判断力、表現力等】 上記で獲得した基礎的知見をもとに、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的視野から考察する。

【学びに向かう力、人間性等】 上記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

科目 歴史総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、総合的にとらえて基礎的知見を得る。	左記で獲得した基礎的知見をもとに、世界と日本について、地勢と地勢から展開する歴史を、多面的・多角的視野から考察する。	左記をふまえて、現代に通暁する諸課題を認識し、自身の問題として自覚化する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	A単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 世界が有機的に結びつき「世界史」が成立していく歴史的過程の基礎的知識を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して「世界史」が成立する過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 「世界史」の成立が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 「結びつく世界」 アジア諸地域の繁栄と日本	【知識・技能】 16世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解しているか。 【思考・判断・表現】 アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し得るか。 清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し得るか。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア域内貿易のあり方について追及しようとしているか。 江戸時代の日本の対外貿易を、世界史的な観点から再構築しようとしているか。	○	○	○	6
	A単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 世界が有機的に結びつき「世界史」が成立していく歴史的過程の基礎的知識を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して「世界史」が成立する過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 「世界史」の成立が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	【知識・技能】 16世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解しているか。 【思考・判断・表現】 アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し得るか。 清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し得るか。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア域内貿易のあり方について追及しようとしているか。 江戸時代の日本の対外貿易を、世界史的な観点から再構築しようとしているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	A単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 19世紀前半のヨーロッパとアメリカおよび中国の動向についての基礎知識を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して19世紀のヨーロッパとアメリカおよび中国の歴史的動向を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 19世紀のヨーロッパとアメリカおよび中国が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 アメリカ独立革命とフランス革命 19世紀のヨーロッパ 19世紀のアメリカ大陸 アジアの変容 中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 産業革命と各国の革命そして列強諸国の中国進出について知識を体系化し得たか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して産業革命や各国の革命、列強の中国進出などを多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と各国の革命、列強の中国進出について追及しようとしているか。	○	○	○	6
	A単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 明治維新の歴史的過程の基礎知識を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して明治維新が成立する過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 「明治維新と日本の立憲体制」 明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体制	【知識・技能】 明治維新の政治過程について基礎知識を把持しているか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して明治維新の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	A単元「近代化と私たち」 【知識及び技能】 列強による帝国主義の歴史過程を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して列強による帝国主義の展開過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 「帝国主義の展開とアジア」 条約改正と日清戦争 日本の産業革命と教育の普及 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響	【知識・技能】 帝国主義の歴史過程を把持しているか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して帝国主義の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	9
	B単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 【知識及び技能】 第一次世界大戦とその後の歴史過程を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して第一次世界大戦とその後の展開過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障 アジア・アフリカ地域の民衆運動	【知識・技能】 第一次世界大戦とその後の歴史過程を把持しているか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して第一次世界大戦とその後の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	B単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 【知識及び技能】 第二次世界大戦に至る歴史過程を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して第二次世界大戦の展開過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争	【知識・技能】 第二次世界大戦の歴史過程を把持しているか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して第二次世界大戦の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	9
B単元「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 【知識及び技能】 敗戦後の歴史過程を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して敗戦後の展開過程を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 敗戦後の歴史が及ぼした影響と現在について自覚を深める。	・指導事項 新たな国際秩序と冷戦の始まり 占領下の日本と民主化	【知識・技能】 敗戦後の歴史過程を把持しているか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して敗戦後の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 敗戦後の歴史が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	7	
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	C単元「グローバル化と私たち」 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の世界の歴史過程を把持していく。 【思考力・判断力・表現力等】 歴史的事項を活用して第二次世界大戦後の世界の展開を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の世界と現在について自覚を深める。	・指導事項 冷戦と世界経済 グローバル化する世界	【知識・技能】 第二次大戦後の世界の歴史過程を把持し得たか。 【思考・判断・表現】 歴史的事項を活用して第二次世界大戦後の世界の基礎課程を多角的・立体的に考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の世界の歴史が及ぼした影響と現在について自覚を深め得たか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者： 福地

使用教科書：（ 新 高校の数学Ⅰ（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】
- 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
1 学 期	第1章 数と式 第2節 1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	1. 1次方程式	【知識・技能】 ○方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○日常の問題を解決するのに、1次方程式を活用することができる。	○	○		1
		2. 不等式	【知識・技能】 ○不等号の意味を理解している。 ○不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。 ○不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ○数量の大小関係を式で表現することができる。 ○不等式の性質を、数直線上の点と対応させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○不等式の性質について、等式の性質と比較して、考察しようとする。	○	○	○	2
		3. 不等式の解	【知識・技能】 ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 ○日常の問題を解決するのに、1次不等式を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	1. 関数	【知識・技能】 ○関数について理解している。 ○関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日常の事象の中に関数を見つけようとする。	○	○	○	1
		2. 1次関数のグラフ	【知識・技能】 ○座標について理解している。 ○対応表を利用して、2次関数のグラフをかくことができる。 ○傾きと切片に着目して、2次関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ○関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ○ $y=ax+b$ のグラフを $y=ax$ のグラフをy軸方向に平行移動したものともみて考察することができる。	○	○		1

2 学 期		3. 2次関数のグラフ(1)	【知識・技能】 ○放物線の形や軸、頂点について理解している。 ○ $y=ax^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=ax^2+q$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=a(x-p)^2$ のグラフをかくことができる。 ○ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ○ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、 x 軸方向、 y 軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。	○	○	○	3
		4. 2次関数のグラフ(2)	【知識・技能】 ○ ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 ○平方完成を利用して $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかくことができる。	○			3
	第2節 2次関数の値の変化 2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	1. 2次関数の最大値、最小値	【知識・技能】 ○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ○平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ○日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次関数の最大・最小の問題を、図をかいて視覚的に考察しようとする。	○	○	○	4
		2. グラフと2次方程式	【知識・技能】 ○因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ○解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。 ○2次関数のグラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数のグラフと x 軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。	○	○	○	4
		3. グラフと2次不等式	【知識・技能】 ○2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 ○式を解きやすい形に変形してから2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。 また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	1. 直角三角形	【知識・技能】 ○直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 ○三角定規の形の三角形について、辺の比を知っている。	○			2
2 学 期		2. 三角比	【知識・技能】 ○三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 ○直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 ○三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。	○	○		4
		3. 三角比の利用	【知識・技能】 ○三角比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三角比を利用して、直角三角形の角のおよその大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○測量の問題に三角比を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○直接測ることのできない距離を求めることに興味をもつ。	○	○	○	4

3 学 期		4. 三角比の相互関係	【知識・技能】 ○$\sin A = \cos(90^\circ - A)$などの公式を利用することができる。 ○三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○$\sin^2 A + \cos^2 A = 1$を三平方の定理としてとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角比の相互関係を調べようとする。	○	○	○	4
		5. 鈍角の三角比	【知識・技能】 ○鈍角の三角比の値を求めることができる。 ○$\sin \theta = \sin(180^\circ - \theta)$などの公式を利用することができる。 ○鈍角の場合についても、三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○拡張された三角比を、座標平面に図示して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○鋭角の場合と異なり、鈍角の三角比が座標を利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	第2節 三角形への応用 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	1. 正弦定理	【知識・技能】 ○正弦定理における$A=B=C$の形の式を適切に処理することができる。 ○正弦定理を利用して、三角形の辺の長さや外接円の半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の頂点から対辺に下ろした垂線の長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。 ○測量の問題に正弦定理を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	5
		2. 余弦定理	【知識・技能】 ○余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の各辺を1辺とする正方形の面積を、三角比を用いて表現し、余弦定理を導くことができる。 ○測量の問題に余弦定理を活用することができる。 ○空間図形から適当な三角形を取り出して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	○	○	○	5
		3. 三角形の面積	【知識・技能】 ○2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、公式を導こうとする。	○		○	3
	定期考査			○	○	○	1
	第4章 集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合	【知識・技能】 ○集合を、要素を書き並べて表すことができる。 ○共通部分、和集合、空集合について理解している。 ○2つの集合の包含関係を判定することができる。 ○全体集合、補集合について理解している。 【思考・判断・表現】 ○集合に関する記号を、適切に用いることができる。 ○ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	○	○	○	2
		2. 命題と集合	【知識・技能】 ○命題の意味を理解している。 ○集合の包含関係や反例を調べるなどして、命題の真偽を判定することができる。 ○否定の意味及び否定を表す記号を理解している。 【思考・判断・表現】 ○命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ○命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。	○	○	○	2

	3. 必要条件と十分条件	【知識・技能】 ○十分条件、必要条件及び必要十分条件の意味を理解している。 ○逆、対偶の意味を理解し、命題の逆、対偶を作ることができる。 ○真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。 ○対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理解している。 【思考・判断・表現】 ○対偶の利用や背理法の利用を適切に判断して、命題を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○直接証明法では難しい命題も、対偶や背理法を利用すれば証明できることに興味をもち、証明法を習得しようとする。	○	○	○	2
第5章 データの分析 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	1. データの整理	【知識・技能】 ○階級、度数などの用語を理解し、データを度数分布表にまとめ、ヒストグラムをかくことができる。 ○データを度数分布表やヒストグラムに表すことのよさを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○データを整理して全体の傾向を考察しようとする。	○		○	1
	2. データの代表値	【知識・技能】 ○最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	○	○	○	2
	3. データの散らばり	【知識・技能】 ○四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 ○四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 ○箱ひげ図をかくことができる。 ○外れ値について理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ○標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	○	○	○	4
	4. データの相関	【知識・技能】 ○散布図を作成することができる。 ○相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数を計算することができる。 ○相関係数と散布図の関連を理解している。 【思考・判断・表現】 ○散布図をもとに、データの相関を考察することができる。 ○相関係数の数値からデータの相関を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○相関係数と散布図の関連に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	3
	5. 仮説検定の考え方	【知識・技能】 ○仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○仮説検定の考え方をを用いて、ある事柄が正しいかどうかを判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	1
定期考査			○	○	○	1
						合計
						78

高等学校 令和7年度（2学年用）教科		理科	科目	化学基礎
教科：	理科	科目：	化学基礎	単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 A組～C組				
教科担当者：（A組：塚原）（C組：塚原）				
使用教科書：（新編化学基礎【東京書籍】）				
教科 理科	の目標：			

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	日常生活や社会を支える身近な物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする科学である化学の特徴について理解する。 物質の分離や精製の実験などを行い、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 元素を確認する実験などを行い、単体、化合物について理解すること。 また、身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する。	1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か 2 章 物質の成分と構成元素	【知識・技能】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	粒子の熱運動と温度との関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 また、物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現する。	2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表	【知識・技能】 物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質の構成についての観察、実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解する。 金属の性質及び金属結合を理解する。 また、物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現する。	2 編 物質の構成 2 章 化学結合	【知識・技能】 イオン結合・共有結合・金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 イオン結晶・共有結合に関する結晶・金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 イオン結合・共有結合・金属結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。	3 編 物質の変化 1 章 物質質量と化学反応式	【知識・技能】 物質質量について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 物質質量についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。	3 編 物質の変化 1 章 物質質量と化学反応式	【知識・技能】 化学反応式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。（提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】 化学反応式についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。（提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。（行動観察、提出課題）	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計 78

足立 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：（A組：澤野、北川、益田） （C組：澤野、北川、益田）

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	25
	実技テスト			○	○	○	2
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	31
	実技テスト			○	○	○	2

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】①自分やチームの課題を見つて、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【学びに向かう力、人間性等】①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	16
	実技テスト			○	○	○	2
							合計
							78

足立 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：（A組：澤野） （C組：澤野）

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
心身の健康や安全に関心をもち、意欲的に学習し、自ら健康で安全な生活を実践できるようにする。健康・安全の意義を理解するとともに、解決に役立つ基礎的事項を理解し、知識を身につけるようにする。	心身の健康や安全に関する課題を見つけることができ、課題の解決を目指して科学的に考えたり、多角的に捉えることにより、適切な意志決定や行動選択ができるようにする。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目	指導内容	評価基準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	3 単元 生涯を通じる健康 心や体は高校生の時期から大人に近づき、年齢を重ねながら変わっていく。それにともない、生涯の各段階で健康課題も変化する。思春期から中高年期までに出会うさまざまな健康問題について学ぶとともに、労働と健康との関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどのについて学ぶ。	オリエンテーション		【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。			○	0.5
		単元1 ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連について説明できるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】 ・健康問題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。 ・身近な生活の中の健康問題に気付いているか。 ・健康の大切さを理解しているか。	○		○	1
		単元2 思春期と健康	思春期における体の変化を、男女に分けて説明できるようにする。			○	○	1
		単元3 性意識と性行動の選択	性意識の男女差について例をあげて説明できるようにする。			○	○	1
		単元4 妊娠・出産と健康	妊娠・出産の家庭における健康課題について説明できるようにする。		○		○	1
		単元4 妊娠・出産と健康	妊娠・出産の家庭における健康課題について説明できるようにする。		○		○	2
		単元5 避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法について説明できるようにする。			○	○	1
		単元6 結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について説明できるようにする。			○	○	1
		単元7 中高年期と健康	加齢に伴う心身の変化について例をあげて説明できるようにする。		○		○	1
		単元8 働くことと健康	働くことの意義と健康とのかわりについて説明できるようにする。			○	○	1
		単元8 働くことと健康	働くことの意義と健康とのかわりについて説明できるようにする。			○	○	1.5
		※ 定期考査	1 学期期末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却 答え合わせ 1 学期振り返り		○	○	○	1
2 学 期	4 単元 健康を支える環境づくり 人々が健康に生きていくためには、周囲の自然環境や食品に関する健康問題を学ぶことは、必要不可欠である。また、社会の制度や保健活動といった社会環境のあり方も重要である。この単元では、環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高めるために、私たち1人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について学習する。	単元9 労働災害と健康	労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。	○		○	1
		単元10 健康的な職業生活	職場が行う健康に関する取り組みについて例をあげて説明できるようにする。			○	○	1
		単元1 大気汚染と健康	大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できるようにする。			○	○	1
		単元2 水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響を説明できるようにする。		○		○	2
		単元3 環境と健康にかかわる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できるようにする。		○		○	1
		単元4 ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状やその課題について説明できるようにする。			○	○	1
		単元5 食品の安全性	食品の安全性と健康とのかわりについて説明できるようにする。			○	○	1
		単元6 食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できるようにする。		○		○	1
		単元7 保健サービスとその活用	保健行政の役割について例をあげて説明できるようにする。			○	○	2
		単元8 医療サービスとその活用	我が国における医療保険の仕組みについて説明できるようにする。			○	○	1
		単元9 医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法について説明できるようにする。		○		○	1
		※ 定期考査	2 学期期末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却 答え合わせ 2 学期振り返り		○	○	○	1
3 学 期	2 単元 安全な社会生活安全は誰もが享受すべきものであり、そのためには、交通事故だけではなく、そのほかの事故、自然災害、犯罪などへの備えが必要である。また、多くの人が応急手当に関する知識や技能をもっている社会なら、仮に被害が起こってもそれを最小限にすることができであろう。この単元では、安全な社会づくりなどについて学習する。	単元10 ささまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康問題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。 ・身近な生活の中の健康問題に気付いているか。 ・健康の大切さを理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。	○		○	2
		単元1 事故の現状と発生要因	事故の実態と被害の実態について説明できるようにする。			○	○	3
		単元2 安全な社会の形成	安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できるようにする。			○	○	3
		※ 定期考査	学年末考査実施		○	○	○	1
		※ 答案返却	答案返却 答え合わせ 3 学期学年振り返り		○	○	○	1
								合計 39

異国コミュニケーションⅠ（管理系）

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表现力等】

【学びに向かう力、人間性等】

合計	78
----	----

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教 科： 家庭科 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ C 組

教科担当者：（A組： 吉田 ）（C組： 吉田 ）

使用教科書：（ 図説家庭基礎 実教出版 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】教科書の内容を理解し、実生活を向上させることができる。

【思考力、判断力、表現力等】家庭生活や社会の課題を様々な観点から考え、自分なりの価値観を築いている。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、家庭生活や社会の課題解決に活かそうとしている。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができる。	家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとする。	家庭生活や社会について興味関心を持ち、よりよくするために学習する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	1章 自分らしい生き方と家族 3章 高齢者とかかわる 4章 社会とかかわる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとって、より良い生活を創造するために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 ・家族に関する法律の理念と変化 ・高齢社会に生きる ・高齢社会を支えるしくみ ・社会保障制度－公助－ ・社会の一員としての私たちの役割－互助・共助－ ・プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができるかどうか。プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】家庭生活や社会の課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） プリント・レポートなどの提出状況	○	○	○	22
	6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとって、より良い生活を創造するために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・日常着の手入れ・補修・保管 －アイロンかけ、まつり縫い、ボタン・スナップつけ－ ・洗濯	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができるかどうか。作品の完成度（努力点も含む） 【思考・判断・表現】衣生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 提出状況と作品の完成度（努力点も含む）	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	5章 食生活をつくる 【知識及び技能】健康的な食生活をおくるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の食生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとっての食生活の課題を、より良くするために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす ・バランスの良い献立作成 ・調理実習（調理の基本） ・準備・片付け・実習記録 ・プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができるかどうか。プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】食生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】食生活の課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） プリント・レポートなどの提出状況 調理実習時に与えられた課題に真剣に取り組む、協力して、安全・衛生・効率を考えた作業ができたかどうか。	○	○	○	22
	7章 住生活をつくる 【知識及び技能】健康で安全であり快適な住まいや住環境、持続可能な住生活について知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの住生活の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の現在の住生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。	・指導事項 ・人と住まいのかかわり方 ・平面計画からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康や安全に配慮した住まい ・持続可能な住まい ・プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができるかどうか。プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】住生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】住生活の課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） プリント・レポートなどの提出状況	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	8章 経済的に自立する 9章 消費行動を考える 【知識及び技能】健康的な生活をおくるための知識や技能を身につける 【思考力、判断力、表現力等】自身の生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとっての生活の課題を、より良くするために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・日々の収入・支出を把握する ・社会と家計の変化 ・長期的な経済計画 ・契約と主體的な消費行動 ・多様化する販売方法と問題商法 ・消費者を守る制度・法律 ・支払い方法 ・消費者の権利と責任 ・持続可能な社会をめざす取り組み ・プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】消費生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】消費生活の課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身につけているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） プリント・レポートなどの提出状況	○	○	○	14	
	6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとって、より良い生活を創造するために学習する態度を身につけている。	・指導事項 ・日常着の手入れ・補修・保管 - アイロンかけ、まつり縫い、ボタン・スナップつけ -	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 作品の完成度（努力点も含む） 【思考・判断・表現】衣生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。 授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 提出状況	○	○	○	4	
	定期考査			○	○	○	合計	
								78

[illegible]

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年 A組・C組

教科担当者：（塚原、新野）

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

[illegible]